



平成 18 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 ヤ マ シ ナ
 代表者名 代表取締役社長 谷川 満
 コード番号 5955 (大証第2部)
 問合せ先 総合企画部長 秋山 由光
 電話番号 (075) - 591 - 2131

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 19 日の決算発表時に公表いたしました平成 19 年 3 月期の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間業績予想数値

(1) 平成 19 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	3,700	30	20
今回修正予想 (B)	3,538	△50	24
増 減 額 (B-A)	△161	△80	4
増 減 率 (%)	△4.37	—	22.28
ご参考 前期(平成 17 年 9 月期)実績	1,978	△310	△560

(2) 平成 19 年 3 月期単独中間業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	2,600	10	5
今回修正予想 (B)	2,454	△135	△71
増 減 額 (B-A)	△145	△145	△76
増 減 率 (%)	△5.61	—	—
ご参考 前期(平成 17 年 9 月期)実績	1,974	△380	△562

(3) 業績予想修正の理由

当中間期のコスト面におきまして原油・鋼材価格等の高騰に伴い、原材料費および燃料費の増加、および商品仕入コストの増加等の要因が発生し、また老朽化した機械に対応する設備投資に伴う減価償却費が増加いたしました。

これらに対応し集中購買方式の推進等の合理化によるコスト削減と販売価格の改善に注力しておりますが、中間期の時点ではその効果が顕著には反映されず、その結果、経常利益は、前年度同期比は改善したものの、当初の業績予想を下回る見込みとなりました。

2. 通期業績予想数値

(1)平成19年3月期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,550	80	65
今回修正予想 (B)	7,290	△55	205
増減額 (B-A)	△260	△135	140
増減率 (%)	△3.44	—	215.38
ご参考 前期(平成18年3月期)実績	5,377	△527	△688

(2)平成19年3月期単独業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,300	40	30
今回修正予想 (B)	5,100	△220	30
増減額 (B-A)	△200	△260	0
増減率 (%)	△3.77	—	0
ご参考 前期(平成18年3月期)実績	4,365	△620	△783

(2)業績予想修正の理由

中間期の業績の影響を受け、経常利益の業績予想を下方修正いたしますが、保有資産や遊休資産の売却を進めること等により、連結当期純利益は当初予想を上回る見込みとなりました。

(注)本資料に記載の業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、実際の業績につきましては、当該予想と異なる可能性があります。

以 上